

教育課程上の名称		総合的な探究の時間						
学校において定める目標		<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>						
講座編成及び授業担当者		普通科教員4名						
設定時間		(金曜日、 3時限目)			単位数(1)			
時期/曜日	探究課題	指導時数	探究の過程(時数)	学習活動(学習のねらい)	探究課題を通して育成を目指す資質・能力	主な言語活動	他教科等との関連	
4月～7月	第1部 「生命」について 「生命」の始まりと終わりにどのようなものがあるのかを理解する。また、臓器移植法やクローン規制法についての基本的な内容を整理する。	15	課題の設定(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・google classroomに参加し、使い方を学ぶ。 ・jam boardの使い方を学ぶ。 ・毎時基礎的・基本的知識の確認のための小テスト(ワークシート)を行う。 ・クローンに関する映像を見て感想をまとめる。 ・「二つの死」についてどう思うかインタビューを行う。 ・臓器移植についてのアンケートを行う。 ・現在の医療技術(科学技術)について調べて、生命を救うためにどのようなことが可能なのか調べ、まとめる。 ・遺伝子組み換え作物についての紙面ディベートを行う。また、メリットとデメリットについてKJ法的手法で考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 生物に関する基礎的・基本的知識を身に付け、人為的な「死」を法で定義することの是非について考察し、臓器移植法が生み出した「2つの死」のあり方に対する自分の考えをまとめ、表現する。また、生命に対して人間はどこまで関与することが許されるのか、医療技術の発達から考察して見解を文章で表現する。 ② 思考・判断・表現 「死」を法で定義することの是非について考察し、臓器移植法が生み出した「2つの死」のあり方に対する自分の考えをまとめ、表現する。また、生命に対して人間はどこまで関与することが許されるのか、医療技術の発達から考察して見解を文章で表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 「生命」に関する科学技術とはどのようなものがあるのかを調べ、また、「自分だったら？」という問いに対する見解をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論述 ・グループワーク ・KJ法的手法 ・jam board ・インタビュー ・紙面ディベート 	<ul style="list-style-type: none"> 公共における倫理分野の知識 生物基礎におけるDNA・遺伝子の知識 体育におけるルールの知識 	
			情報の収集(7)					整理・分析(5)
			9月～12月					第2部 「社会問題」 「環境問題」
情報の収集(7)	整理・分析(5)							
1月～3月	第3部 「発表」	5		まとめ・表現(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間を振り返り、どのようなことを学んだかをワークシートにまとめる。 ・power pointの使い方を学びながら、ワークシートをもとにpower pointを作成していく。 ・各自発表し、他者の発表についてはgoogle classroomに感想を記入し、共有しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 一年間を振り返り、印象に残ったテーマを決定し、さらに掘り下げてスライドにして発表できるICT技術について理解する。 ② 思考・判断・表現 一年間で考えたことを整理・深化し、他者にわかりやすく伝えられるよう表現する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 他者の発表に耳を傾け、自分自身の性著運取り入れることができる対応力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・power pointによる発表 ・ワークシート ・google classroom 	
			指導時間数の計	35				